

「語りもんそ」

Vol.52 平成30年 8月 31日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪

カフェ ミニコンサート

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ”

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●2018年8月26日(日)は、**穎川智沙さん**(メゾ・ソプラノ)と**井上奏子さん**(ピアノ)のお二人で、江間章子作詞 中田喜直作曲「夏の思い出」、林古溪作詞 成田為三作曲「浜辺の歌」、石井欽作曲「五木の子守唄(熊本地方民謡)」、三井ふたばこ作詞 中田喜直作曲「むこうむこう」、松居慶子作曲「Gentle Sands」、西條八十作詞 服部良一作曲「蘇州夜曲」、清水かつら作詞 弘田龍太郎作曲「叱られて」、G.アレヴィ作曲「Downtown」、E.ピアフ作詞 P.ルイギ作曲「La vie en Rose」、F.ショパン作曲「ワルツ 第7番 嬰ハ短調 作品64-2」、G.アポリネール作詞 F.プーランク作曲「Avant le Cinema」、D.アルフォンス作詞 H.レイナルド作曲「Trois jours de vendange」、G.ビゼー作曲「オペラ“カルメン”より ハバナラ」など13曲とアンコールに「you raise me up」が演奏されました。



穎川智沙さん(メゾ・ソプラノ) 井上奏子さん(ピアノ)

第39回 霧島国際音楽祭 2018
クリスマス祝祭管弦楽団公演

プレセミナー

第1回 6月9日(土)

第2回 7月7日(土)

宝山ホール 第3会議室

平成30年8月1日(火)に宝山ホールで開催される「第39回霧島国際音楽祭 キリシマ祝祭管弦楽団公演」の前に出演者や、作曲者、当日の演奏曲目の聴きどころなどについてのプレセミナーが開催されました。



●6月9日の第1回は、鹿児島国際大学 国際文化学部 音楽学科准教授の伊藤綾氏より

①作曲家について

- ・W.A.モーツァルト
- ・G.ロッシーニ
- ・M.I.グリンカ
- ・A.ドヴォルザーク
- ・G.マーラー

②序曲と交響曲の関係

- ・シンフォニアとシンフォニー
- ・シンフォニアとオーヴァチュア
- ・《交響曲第1番》 W.A.モーツァルト
- ・《交響曲第1番》と《花の章》 G.マーラー

③楽曲解説

- ・歌劇《フィガロの結婚》序曲 W.A.モーツァルト
- ・歌劇《ウィリアム・テル》序曲 G.ロッシーニ
- ・《交響曲第9番「新世界より」》A.ドヴォルザーク

資料として配布された楽譜と音声により公演の聴きどころや、作曲家・作品の特長を具体的にまた分かりやすく解説してくださいました。



伊藤綾 准教授

●7月7日の第2回は、公益財団法人ジェスク音楽文化振興会 専務理事堤正浩氏と事務局長井上宝子氏より、

- ①指揮者サッシャ・ゲッツェルやクリスマス祝祭管弦楽団のメンバー紹介。
- ②今年の音楽祭の見どころについて。

音声や堤剛氏の映像メッセージなどを交えて見どころの紹介がありました。



堤正浩専務理事（左） 井上宝子事務局長（右）

第39回霧島国際音楽祭2018

クリスマス祝祭管弦楽団公演

8月1日 19時 宝山ホール

今年は、ウィーン国立歌劇場で活躍する指揮者サッシャ・ゲッツェルを迎え、真夏にふさわしい豪華フェスティバル・プログラムで、演奏は国内外の一流オーケストラのコンサートマスターや首席奏者などトップ・アーティストで編成されたクリスマス祝祭管弦楽団。

～曲目～

- | | |
|-------------------|------------|
| ・歌劇「フィガロの結婚」序曲 | W.A.モーツァルト |
| ・交響曲 第1番 | W.A.モーツァルト |
| ・花の章 | G.マーラー |
| ・歌劇「ルスランとリユドミラ」序曲 | M.グリンカ |
| ・歌劇「ウィリアム＝テル」序曲 | G.ロッシーニ |
| ・交響曲 第9番「新世界より」 | A.ドヴォルザーク |

○お客様に感想をお聞きしました

- ・大重李々佳さん（高2年）

「指揮者サッシャ氏の滑らかな曲調では滑らかに、アップテンポのところは体全体で激しく強く表現している姿に魅かれました。今日演奏された楽曲の中では『ウィリアム＝テル』序曲の最初のチェロがとても繊細な音で自分の中に一番吸い込まれるような曲でした。」

- ・大重 乃愛さん（中3年）

「クリスマス祝祭管弦楽団の皆さんは曲の中の緊張感や曲全体の情景を体全体や、音の強弱などで表現されていました。このような迫力ある生の演奏は初め

て聴きました。そして今日は言葉では言い表せないほどの感動をいただき本当にありがとうございました。もっとクラシック音楽に関心を持ちたいとも思いました」



ちびっ子集まれ！
クラシックっていいな～

ファミリーコンサート

8月18日(土) 14時 宝山ホール

「子どもと一緒に音楽を楽しみたい」という家族のご要望にお応えした0歳児から入場できるファミリーコンサート。演奏は(公財)鹿児島県文化振興財団のアーティストバンク登録アーティストを中心に編成された“宝山室内アンサンブル”。歌のお姉さんは平田由希さん(ソプラノ)、司会と朗読は上片平健さん(KTSアナウンサー)。

第1部は“歌曲「アイダ」より凱旋行進曲”から始まり、“日本の民謡メドレー”の曲で演奏楽器の紹介があり、“モテット「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」よりアレルヤ(K.165)”、“「くるみ割り人形」より” (おはなし付き)が演奏されました。

第2部は“剣の舞”、“リトル・マーメイド・メドレー”、“エピカニクス”、“ドラえもん”、“昆虫大図鑑”が演奏され、ホールは元気な子どもたちの歌声が明るく響き、大いに盛り上がりました。

●宝山室内アンサンブル



開場前と休憩中には龍桜高等学校吹奏楽部による演奏及びパフォーマンスがありました。

●開場前のマーチング(前庭)



●休憩時間中の演奏(ホワイエ)



●演奏してくださった龍桜高等学校吹奏楽部の皆さん



○演奏者に感想をお聞きしました

- ・ 藏元慧さん(龍桜高等学校吹奏楽部 部長)
「子どもたちにパワーをもらい一緒に音楽を楽しむことが出来ました」
- ・ 中濱美里さん(龍桜高等学校吹奏楽部 副部長)
「子どもたちの笑顔がとても嬉しかったです」



○お客様に感想をお聞きしました

・中野さおりさん 結貴さん (3才)

「行きたい!と思って3年目、やっと来ることが出来ました。見て楽しい、聴いて楽しいコンサートでした。子どもの耳に優しい音響で、我が家の元気っ子も最後まで楽しめました。最近はこのようなコンサートが多く嬉しいです」



チャレンジしよう

『日本の伝統文化』

8月28日(火)・宝山ホール

・かごしま県民交流センター茶室

小・中学生のみなさんが、日頃学ぶ機会の少ない日本の伝統文化である、お茶・生け花・日本舞踊にチャレンジしました。

●日本舞踊(吾妻流) 講師は烏野ユリ子先生



●お茶(裏千家) 講師は溝口陽子先生



●生け花(小原流) 講師は鈴木查智子先生



○受講者に感想をお聞きしました

・甲斐美春さん(小6年)

「日本舞踊と生け花にチャレンジしました。日本舞踊は目線や一つひとつの所作が難しかったけど先生が優しく教えて下さいました。初めての生け花はお花をどんなふうにするか一番きれいになるのかお花と向き合ったのが楽しかったです」

宝山ホール広報ボランティア 『語りもんそ』編集部

〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール

電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503

撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行